

## 第 92 回 未来医療臨床研究審査・評価委員会議事要旨

日 時：平成 27 年 1 月 7 日（水）16:50～17:20

場 所：未来医療センター会議室 C（先端医療イノベーションセンター4 階）

出席者：西田委員長、森井副委員長、澤委員、竹原委員、吉峰委員、後藤委員、加藤委員、小島委員、山本委員、青井委員、朝野委員、名井委員、掛江委員、早川委員、森委員

議 題：

（審議事項）

1. 第 91 回 未来医療臨床研究審査・評価委員会議事要旨確認（資料 1）  
西田委員長より出席委員に説明が行われ、異議なく承認された。

2. 「新規抗菌性ペプチド AG30/5C を用いた難治性皮膚潰瘍治療（MM1301）」の実施状況報告と臨床研究継続の可否について審議（資料 2）

老年腎臓内科：中神先生より説明。2 例で実施。MRSA の菌量減少を認めた。

Q：期間延長の予定は。

→違うペプチドを用いた医師主導治験を実施する予定で、本研究は予定通り終了する。

（関係者退出後の審議）

⇒異議なく承認された。

（報告事項）

1. 「ブレイン・マシン・インターフェースによる運動機能・意思伝達機能補填装置の臨床研究（MM1201）」の研究終了の報告（資料 3）

脳神経外科：平田先生から報告。1 例に実施。患者はロボットアームでボールを握ったり離したりすることができた。安全性に関する重大事象はみられなかった。今後無線型の体内埋め込み型デバイスの実用化を目指す。

Q：ほかにできるようになったことは。

→意思伝達装置で会話できるようになった。

Q：現在の患者の状況は。

→少し病状の進行はしているが、著変ない。

Q：世界で他の報告は。

→今回が初である。

Q：研究期間の延長はしないのか。

→クライテリアを満たす症例がなく、身体的負担も大きいため、延長はしなかった。

（その他）

1. 臨床研究進捗状況について（当日配布資料）

未来医療センターより資料に従い説明がなされた。

2. 次回未来医療臨床研究審査・評価委員会の日程について

平成 27 年 2 月 4 日（水） ヒト幹細胞臨床研究審査委員会終了後（予定）